

口腔インプラント学

責任者名：萩原 芳幸

学期：前期

対象学年：6年

授業形式等：講義

◆担当教員

萩原 芳幸(歯科補綴学Ⅱ 教授)

米山 隆之(歯科理工学 教授)

高橋 富久(解剖学Ⅰ 教授)

田邊 奈津子(生化学 准教授)

関 啓介(総合歯科学 専任講師)

◆一般目標 (GIO)

- ・ 歯科インプラント治療を行うために、インプラントに関連する検査・診断、治療計画を理解する。
- ・ 歯科インプラント治療を行うために必要なインプラントに関連する解剖学、骨代謝、病理学および歯科理工学を理解する。
- ・ 歯科インプラント治療を行うために必要なインプラントの基本概念から具体的な治療術式を理解する。

◆到達目標 (SBO s)

- ・ 口腔インプラント治療概論を説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療と解剖学の関連について説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療に用いる材料について説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療に必要な診査と検査を説明できる。
- ・ 全身状態と口腔インプラント治療について説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療の治療計画を立案できる。
- ・ 口腔インプラント治療における画像診断について説明できる。
- ・ 口腔インプラント外科手術に必要な基礎的知識と術式を説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療の補綴処置について説明できる。
- ・ 口腔インプラント周囲炎について説明できる。
- ・ 口腔インプラントと天然歯周組織の違いを説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療におけるメンテナンスについて説明できる。
- ・ 口腔インプラント治療に関連した各種合併症について説明できる。

◆評価方法

平常試験(50%)と定期試験(50%)の割合で評価を行う

平常試験：口腔インプラント学は、6年次の講義の進行状況に合わせて複数回平常試験を行う。

最低でも試験を実施する回の1ないし2回前の講義時に平常試験実施の告知を行う。講義の履修内容に合わせた平常試験を行い、範囲は同じく告知する。

平常試験の解説：試験当日に試験範囲の学習内容と理解度をフィードバックするために、試験内容の解説を10～15分程度行い授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
萩原 芳幸	月曜日 17:00～18:00 教授室	hagiwara.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	
米山 隆之	火曜日 17:00～18:00 教授室	yoneyama.takayuki@nihon-u.ac.jp	
高橋 富久	火、金曜日 8:00～9:00 教授室	takahashi.tomihisa@nihon-u.ac.jp	
田邊 奈津子	火曜日 17:00～18:00 生化学研究室	tanabe.natsuko@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

【実務経験】萩原芳幸：在職中の日本大学歯学部附属歯科病院歯科インプラント科での日常臨床における経験と豊富な臨床例をもとに本教科で学ぶ内容の基礎から臨床応用まで、幅広く説明したいと思います。また、最近是国家試験にも出題されることを鑑み、その対策も兼ねて学ぶ場を提供したいと考えています。これらに関して、教科書に記載されている基本的項目と実際の臨床例を通して、講義を行う予定です。また、過去の国家試験問題等を参考にして、臨床実習での補完を兼ねてより臨床的な理解度を増すことができるように講義内容を考えたいと思います。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	よくわかる口腔インプラント学 第3版	赤川安正，矢谷博文，松浦正朗，渡邊文彦編	医歯薬出版	2017
参考書	歯科国試パーフェクトマスター 口腔インプラント学	萩原芳幸	医歯薬出版	2021

◆DP・CP

[DP3]コンピテンス：論理的・批判的思考力， コンピテンシー：多岐にわたる知識や情報を基に，論理的な思考や批判的な思考ができる。

[DP4]コンピテンス：問題発見・解決力， コンピテンシー：自ら問題を発見し，その解決に必要な基本的歯科医学・医療の知識とスキルを修得できる。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に，論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP4]歯科医学の基礎知識を体系的に修得し，臨床的な視点で問題を解決する力を養成する。

[CP8]各学年における学修で得た歯科医学の知識，技術および省察力をもとに，歯科医師として生涯にわたり学習する姿勢を育成する。

◆準備学習(予習・復習)

内容が多岐にわたるので教科書や参考書を読んで，該当する学習項目に関しての内容を予習する。また，講義終了後には講義内容を整理して教科書，参考書およびノートを読み直し，講義内容を整理して復習を行うこと。

◆準備学習時間

授業時間相当を充てて授業時間の2倍程度をかけて，学習項目に関連する予習と復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

臨床口腔病理 3年後期

専門総合特別講義Ⅲ 4年後期

臨床推論の構築 5年後期

臨床実習アドバンスト 6年前期

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.11	3	1. 口腔インプラント学総論 (教) pp.1-22	・臨床例から治療の流れを理解する。	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ① デンタルインプラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる E-3-4)-(3) ② デンタルインプラントの適応症と合併症を説明できる。
2		4.16	3	2. インプラント治療に関連する解剖	・歯を喪失したときの上顎骨と下顎骨の構造変化について説明できる。	高橋 富久	E-3-4)-(3) ① デンタルイン

				学 (教) pp.31-48	・上顎骨と下顎骨に分布する血管と神経の走行について説明できる。		プラントの種類、特徴、目的及び意義を説明できる C-3-4-(2) ① 人体の基本的な骨格系と骨の結合様式を説明できる
3		4.18	3	3. インプラント治療に必要な骨の知識 (教) pp.23-30	・歯科インプラント治療に関連して、骨リモデリング(骨形成・骨吸収)を中心に骨代謝の基本事項を説明できる。	田邊 奈津子	C-3-4-(2) ④ 骨発生(軟骨内骨化と膜内骨化)、骨成長及びリモデリングの機序と調節機構を説明できる。 C-3-4-(2) ⑤ 硬組織の成分と石灰化の機序を説明できる
4		4.23	3	5. 検査・診断, 治療計画(1) 全身および局所検査 (教) pp.67-97	・口腔インプラントにおける全身および局所的検査・診断項目を説明できる。	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ③ デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。 E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
5		4.25	3	5. 検査・診断, 治療計画(2) 画像診断と治療計画 (教) pp.98-123	・画像診断を通して口腔インプラントに必要な臨床解剖を説明できる。 ・インプラントの基本的な治療計画が立案できる。 ・コンピュータシミュレーションを説明できる。	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ③ デンタルインプラントに必要な診察と検査を説明できる。

							E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。
6		5.2	3	4. インプラントの材料と生体適合性 (教) pp.49-63	<ul style="list-style-type: none"> ・生体材料の概念を説明できる。 ・インプラントに使用される材料の種類と特性について説明できる。 ・インプラント材料の硬組織適合性を説明できる。 	米山 隆之	D-2 ⑤インプラント・口腔外科・歯周治療用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。
7		5.9	3	6. 外科術式 1) 埋入手術 (教) pp.124-162	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラントの基本的な埋入術式とその注意点を説明できる。 ・外科手術に用いる器具の種類、基本的な使用法を説明できる。 ・外科手術を行う際の全身のおよび局所状態評価を説明できる。 	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑤ 埋入手術方法を説明できる。
8		5.16	3	6. 外科術式 2)その他の関連外科処置(1) (教) pp.124-162	<ul style="list-style-type: none"> ・上顎洞底挙上術、各種骨移植、仮骨延長術などのインプラント関連外科処置を説明できる。 	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療手順を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑤ 埋入手術方法を説明できる。
9		5.23	3	6. 外科術式 2)その他の関連外科処置(2) (教) pp.124-162	<ul style="list-style-type: none"> ・二次手術、軟組織のマネージメントについて説明できる。 ・外科的合併症・偶発症を説明できる。 	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ④ デンタルインプラントの治療計画、治療

				平常試験と平常試験の解説	<ul style="list-style-type: none"> ・(第1回～第8回)の範囲でマークシート形式と筆記を混在した試験を行い、理解度を確認する。 ・解説により授業内容の理解度の確認及び習熟を図る。 		手順を説明できる。 E-3-4)-(3)⑤埋入手術方法を説明できる。
10		5.30	3	7. 補綴処置(1) (教) pp.163-245	<ul style="list-style-type: none"> ・インプラント補綴の種類を説明できる。 ・インプラント補綴基本術式を説明できる。 	萩原 芳幸	E-3-4)-(3)⑥デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3)⑦デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
11		6.6	3	7. 補綴処置(2) (教) pp.163-245	<ul style="list-style-type: none"> ・印象方法・咬合採得方法を説明できる。 ・固定式補綴装置の基本的作製方法が説明できる。 ・固定式補綴装置の装着方法を説明できる。 	萩原 芳幸	E-3-4)-(3)⑥デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3)⑦デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
12		6.13	3	7. 補綴処置(3) (教) pp.163-245	<ul style="list-style-type: none"> ・可撤式補綴装置のアタッチメントについて説明できる。 ・可撤式補綴装置の基本的作製方法を説明できる。 	萩原 芳幸	E-3-4)-(3)⑥デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採

							得を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑦ デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
13		6.20	3	7. 補綴処置(4) (教) pp.163-245	・補綴学的合併症とその対処法を説明できる。	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ⑥ デンタルインプラントの上部構造の印象採得と咬合採得を説明できる。 E-3-4)-(3) ⑦ デンタルインプラントの上部構造の製作手順と装着方法を説明できる。
14		6.27	3	8. リコールとメンテナンス(1) (教) pp.251-261	・長期にわたってインプラント治療を成功させるための要件を説明できる。 ・メンテナンスの方法と重要性を説明できる。 ・メンテナンスに使用する器機を説明できる。	萩原 芳幸 関 啓介	E-3-4)-(3) ⑧ メンテナンスの重要性を説明できる。
15		7.9	3	8. リコールとメンテナンス(2) (教) pp.262-295	・各種合併症やトラブルの種類と原因、対処法を説明できる。 ・インプラント周囲炎に対する理解を深め、その対処方法を説明できる。	萩原 芳幸	E-3-4)-(3) ⑧ メンテナンスの重要性を説明できる。

